大雨による洪水の時は
あわてず正しく避難しよう！

平成10年8月4日（8・4水害）

平成22年 3月作成
保存版

阿賀野市
イメージキャラクター
「こすっちょ」

安野川
東部版

阿賀野市洪水避難地図

AGANO CITY HAZARD MAP

あがのし
阿賀野市
〒959-2092　新潟県阿賀野市岡山町10番15号
TEL:0250-62-2510㈹　FAX:0250-62-0281
HP:http://www.city.agano.niigata.jp/　E-mail:city-agano@city.agano.niigata.jp

この地図は、災害情報や避難に関する情報をわかりやすくまとめたものです。万が一のための備えにお役立てください。

我が家の防災メモ

我が家の避難所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

名　前	生年月日	血液型	職場／学校	電話番号
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL

防災グッズチェックシート

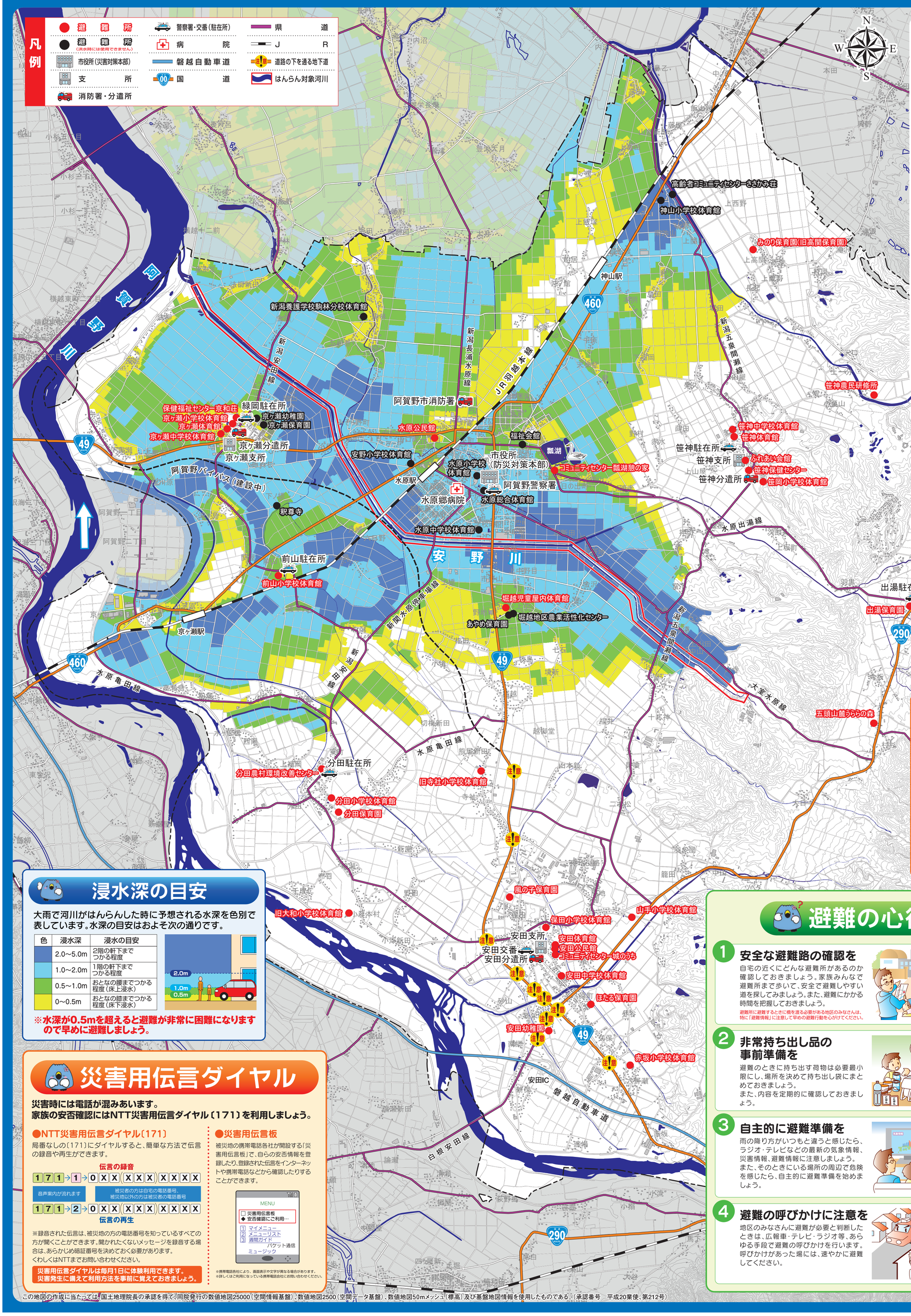
- □ 懐中電灯・乾電池
- □ 携帯ラジオ
- □ 非常食
- □ 飲料水
- □ タオル・衣料
- □ ロープ・つえ
- □ マッチ・ライター・燃料類
- □ 貴重品
- □ 救急セット・常備薬

その他必要に応じて準備しておきましょう

ちり紙、ミルク、ほ乳瓶、紙おむつ、毛布、眼鏡、ヘルメット、携帯ナイフ、ドライシャンプー、軍手、携帯袋、石けん、使い捨て食器、携帯食、レジャーシート、携帯電話の充電器　など

防災関係機関

名　称	電話番号(0250)
阿賀野市役所	62-2510
安田支所	68-3000
京ヶ瀬支所	67-2111
笹神支所	62-4141
阿賀野警察署	63-0110
阿賀野市消防署	62-2058
安田分遣所	68-3007
京ヶ瀬分遣所	67-2706
笹神分遣所	62-4144
水原郷病院	62-2780



災害情報の伝達経路

情報はどうやって市民に届くの？

- 気象庁：大雨・洪水注意報、警報
- 新潟県：河川情報／国道・県道情報
- 国土交通省：河川情報・水防情報／国道情報

阿賀野市災害対策本部

避難準備情報　避難勧告　避難指示・解除

TEL.62-2510　FAX.62-0281

http://www.city.agano.niigata.jp/

広報車／インターネット／警察署 呼びかけ 交通整理／消防署 消防団／報道機関 緊急割込放送／自治会長 連絡網

市民のみなさんが取るべき行動

避難準備情報がでたら	避難勧告がでたら	避難指示がでたら
避難に時間のかかる方などは避難の準備を始める	指定された避難所へ避難を開始する	指定された避難所へ直ちに避難する

危険の度合い　低 → 高

防災関連情報の入手先

インターネットや携帯電話による情報提供

- 気象庁・新潟地方気象台
  【パソコン】http://wwwwww.jma-net.go.jp/niigata/
- 国土交通省　防災情報提供センター
  【パソコン】http://www.mlit.go.jp/saidai/bosaijoho/
- 国土交通省 川の防災情報（阿賀野川の水位）
  【パソコン】http://www.river.go.jp/
  【携帯電話】http://i.river.go.jp/
- 新潟県河川防災情報システム
  【パソコン】http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/
  【携帯電話】http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen_m/

ラジオ

【FM放送】
- FM新潟（77.5MHZ.）
- NHK FM（82.3MHZ.）
- FMポート（79.0MHZ）
- FM新津（76.1MHZ）

【AM放送】
- NHK 第一（837KHZ）
- NHK 第二（1593KHZ）
- BSN（1116KHZ）

浸水深の目安

大雨で河川がはんらんした時に予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおよそ次の通りです。

色	浸水深	浸水の目安
	2.0～5.0m	2階の軒下までつかる程度
	1.0～2.0m	1階の軒下までつかる程度
	0.5～1.0m	おとなの腰までつかる程度（床上浸水）
	0～0.5m	おとなの膝までつかる程度（床下浸水）

※水深が0.5mを超えると避難が非常に困難になりますので早めに避難しましょう。

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混みあいます。
家族の安否確認にはNTT災害用伝言ダイヤル〔171〕を利用しましょう。

●NTT災害用伝言ダイヤル〔171〕

局番なしの〔171〕にダイヤルすると、簡単な方法で伝言の録音や再生ができます。

伝言の録音
1 7 1 → 1 → 0 X X（X X X）X X X X
音声案内が流れます　被災者の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災者の電話番号

伝言の再生
1 7 1 → 2 → 0 X X（X X X）X X X X

※録音された伝言は、被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。
くわしくはNTTまでお問い合わせください。

災害用伝言ダイヤルは毎月1日に体験利用できます。
災害発生に備えて利用方法を事前に覚えておきましょう。

●災害用伝言板

被災地の携帯電話各社が開設する「災害用伝言板」で、自らの安否情報を登録したり、登録された伝言をインターネットや携帯電話などから確認したりすることができます。

※携帯電話各社により、画面表示や文字が異なる場合があります。
※詳しくはご利用になっている携帯電話会社にお問い合わせください。

避難の心得 ～どうやって避難するの？～

1 安全な避難路の確認を

自宅の近くにどんな避難所があるのか確認しておきましょう。家族みんなで避難所まで歩いて、安全で避難しやすい道を探してみましょう。また、避難にかかる時間を把握しておきましょう。

避難所に避難するときに橋を渡る必要がある地区のみなさんは、特に「避難情報」に注意して早めの避難行動を心がけてください。

2 非常持ち出し品の事前準備を

避難のときに持ち出す荷物は必要最小限にし、場所を決めて持ち出し袋にまとめておきましょう。
また、内容を定期的に確認しておきましょう。

3 自主的に避難準備を

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどの最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。

4 避難の呼びかけに注意を

地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、広報車・テレビ・ラジオ等、あらゆる手段で避難の呼びかけを行います。呼びかけがあった場には、速やかに避難してください。

5 お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子ども、病気の方は、早めに避難が必要です。近所のお年寄りや子ども、病気の方などの避難に協力しましょう。

6 動きやすい格好で避難 溝や水路、マンホールに注意

浸水した道路は、マンホールのふたが外れていたり、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。

7 車での避難はひかえて

車での避難は渋滞を招き緊急車輌の妨げなどになったり、道路冠水により動けなくなります。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

8 万が一、逃げ遅れたら

近くの丈夫な建物の三階以上に避難して救助を待ちましょう。住宅の二階部分でも場所によっては危ない時もあります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（空間情報基盤）、数値地図2500（空間データ基盤）、数値地図50mメッシュ（標高）及び基盤地図情報を使用したものである。（承認番号　平成20業使、第212号）